

【予算案等提案理由】

続いて、今回提案いたします新年度予算案についてであります。

一般会計のほか、8件の特別会計、3件の公営企業会計の予算案を上程しており、いずれも、主要施策として申し上げました取り組みを進めるため、厳しい財政状況を考慮しつつ、予算を編成したところであります。

自主財源に乏しい本市では、収入の多くを地方交付税等に依存している状況にあります。その地方交付税は新年度の地方財政対策で地域社会再生事業費や会計年度任用職員人件費等に増加が見込めるものの、合併による加算措置の終了や人口減少の影響がある部分については、今後も確実に減少してまいります。

中長期財政見通しにおきましても、歳入歳出の収支不足を補うため、基金は減少する見込みであり、今後の財政運営は一層厳しさを増すことが予想されます。そうした中、当初予算の編成にあたっては、中長期財政見通しを念頭に置きまして、昨年の夏から各種事業の政策議論に取り組み、一方では、国県補助金等の新たな財源確保に努めるなど、財政健全化の取り組みを強化して、収支不足の圧縮を図ってきたところであります。

もとより、「第2次大田市総合計画」に掲げた将来像「子どもたちの笑顔があふれ、みんなが夢を抱けるまち‘おおだ’」の実現に向け、将来の大田市にとって必要な投資となる事業につきましては、重点配分を行っております。

この結果、新年度一般会計当初予算の総額は、対前年度9億4千5百万円、3.8%増の、255億5百万円となっております。

特徴的な事業では、【産業づくり】としての仁摩地区道の駅整備事業、全国植樹祭推進事業、畜産競争力強化対策事業、農業農村整備事業、【豊かな心づくり】としての大田市中央図書館環境整備事業、各種の教育魅力化推進事業、【都市基盤づくり】としての第2期ケーブルテレビエリア光化促進事業、西部消防署庁舎新築整

備事業、多文化共生社会緊急通報システム等対応事業、街路整備事業、【自然・生活環境づくり】としての新可燃ごみ処理施設整備に係る負担金などが挙げられます。

また、定住施策や出産・子育て施策についても、引き続き、推進することとし、池田診療所運営や井田診療所の旧井田小学校への移転など、地域医療体制の確保についても取り組んでいくこととしております。

なお、昨年の決算審査特別委員会の指摘事項等につきましては、その対応調書を本日お手元に配布いたしております。

次に、令和元年度の補正予算案につきましては、一般会計のほか、6件の特別会計、1件の公営企業会計の補正予算をそれぞれ上程いたしております。

一般会計につきましては、国の補正予算に伴い教育情報化推進事業を新たに計上するとともに、新病院建設などに係る病院事業会計負担金や国民宿舎さんべ荘改修工事に伴うさんべ荘休業対策費などの増額、また、プレミアム付商品券発行事業をはじめとした各種事業の実績減により、総額1億6千9百万円余の増額補正をお願いするものであり、補正後の一般会計の予算総額は、262億2千1百万円余となっております。

なお、この補正予算額の中には、本市に対していただきました温かいご寄附を原資として、各種基金に積み立てる予算も含まれております。

以上の予算案のほか、条例案件、一般案件の諸議案を本会議に提案しております。詳細については、所管部長並びに担当課長に説明させますので、何とぞ、慎重にご審議の上、適切な議決を賜りますようお願い申し上げます。